



きいちしレポート 16



ごあいさつ



あけましておめでとうございます。

議会レポート No16 をお届けします。今回のレポートで議員任期最後のレポートとなります。ご愛読ありがとうございました。

さて、12月議会は、平成27年度事業の進捗状況を確認し、来年度予算にむけた事業評価の意味合いがあります。議会では市長提出の条例案、補正予算など計16件の議案が審議されました。

ご意見はブログ <http://pokonin555.asablo.jp/blog/> に寄せ下さい！

台風18号の被害・明確になった課題について！

台風18号は、吉川市にも豪雨被害をもたらしましたが、その被害の状況から、吉川市として災害対策を行う上で、いくつかの課題が明らかになったと思われます。災害対策について市として取り組むべき課題をどのように評価したのかを、質問しました。

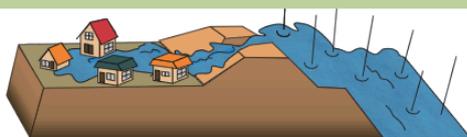
問 台風18号被害を受け吉川市として明らかになった課題について示されたい。

答 災害情報など情報連絡手段の確保などに課題があった。

また、床上浸水のあった須賀榎戸地区ではポンプの排水能力が不十分だったことがわかった。このため排水ポンプの能力増強について検討する。

「来年度予算の増額？」

市長は、新たな水路の整備、ふたの無い水路の危険性に言及されたうえで、**来年度予算の確保**ということに目を向けたいとの意欲を示されました。今回の台風災害を教訓に、防災対策やインフラ整備にむけ、大幅な予算の充実を期待したいと思います。



農業、農地の多面的機能を、どう活用するのか！

多面的な機能のある農地内に、資材置き場等の開発が行われると、農地の機能を破壊することになります。三輪野江地域では墓地の開発が行われようとしています。市が定めた墓地・埋葬等に関する開発ルールである条例に問題があったので、早急な改正を求めました。

問 農地には多面的な機能があるが、優良な農地に影響を及ぼす開発に対して市の対策は。

答 開発は都市計画法などの許可が必要であり、開発区域からの排水を適切な放流先に決めることで、農業用水の水質悪化を防ぎたい。

問 墓地などの開発ルールを定める条例改正の進捗は。

答 条例の関係住民への説明会開催など事前手続きの規定に不備はないが、経営許可の手続きについては、緑地帯や駐車場の規定などに不備がある。できる限り速やかに条例改正をしたい。



避難場所の指定も書き込まれています。

氾濫しそうな川に向かって避難??? 目の前の川が氾濫しそうなのに、その川に向かって避難する…そんな場所に避難所が指定されていました。その地域では、その場所が最も安全と判断されていたからです。吉川市は、どこまでも平坦な地域で、高台がない。だから洪水の想定にも河川近くの小学校を避難場所にするしか選択肢はなかったのかも知れません。9月に襲ってきた、台風18号による集中豪雨の話です。吉川小学校が避難場所に指定されていたのですが、中川の水位が危険水域に達した頃、避難勧告が発信されました。実際に吉川小学校に避難された方がいたのですが、そこに到着するまでに、不条理を感じたのではないのでしょうか。市は「2階に避難すればいい！」と答弁しましたが、どうでしょうか。防災計画に、大きな課題があると思うのですが！！

地方版総合戦略の重点施策について

「地方版総合戦略」は、地方創生のための行政計画を策定することであり、計画実現のための事業予算は、国から強力なバックアップが約束されています。人口減少に苦しむ地方自治体にとって、戦略策定は地方創生のカギであり、競って計画策定に取り組んでいます。

吉川市も取り組みを進めていますが、**策定過程はかなり遅れています**。市の活性化のため、具体的な事業提案や計画の実行性を高める工夫が求められています。精力的な取り組みを求め、市の姿勢を問いました。

問 総合戦略が定める数値目標について

答 地方版総合戦略、重点施策によって住民が受ける具体的な便益を数値目標とする考えであり、重要業績評価指標（KPI）を設定していく。KPI は、総合戦略における具体的な取り組みの達成目標を伝えるとともに目標の達成度合いをPDCAによって、検証できる客観的な指標を設定することが重要である。

策定委員会では、出産、子育て、教育に関する目標と仕事づくりと時代に合った地域づくりに関する目標の二点について、審議会委員から多くの貴重な意見をいただいた。



農地の真ん中に資材置き場.....

きいちレポート!!



産業政策の考え方は？



問 トータルでは人口増加となる吉川市の人口変動を踏まえた政策をどのように考えるか。

答 総合戦略の策定にあたり、本市における人口の現状分析と2060年までの長期的な人口の推計を行っている。

市全体の人口推計は、今後10年程度は増加が見込まれる一方で、市街化調整区域のような人口流入が起りにくい地域では、すでに人口減少が起り始めている。

総合戦略は、地域によって人口動態が異なる中で、将来にわたって町全体の活気を維持するために策定するものであることから、地場産業の成長促進や、就業機会の創出による多様な就業ニーズの実現をはかるとともに、安全で快適な住環境の向上に取り組み、市民のだれもが幸福感を実感でき、住みよいまちづくりを推進していく。

問 農業をはじめとする吉川市の現状や、新たな雇用の創生など特性を踏まえた産業政策について。

答 吉川市域における農業をはじめとする産業振興策と新たな雇用を生み出す施策の必要性を認識している。吉川市の特性としては、首都圏25キロメートル圏内の大消費地に隣接しながら、農業振興地域の割合が多いことや東埼玉テクノポリス、小松川工業団地といった産業地域等を有し、製造業をはじめとする産業が立地していることが特性と認識している。

特性を踏まえた具体的な施策としては、農業の6次産業化や農作物のブランド化を推進し、魅力ある農業の振興をはかる。また製造業をはじめとした市内企業の優れた技術に光をあて、それらをPRすることで、活力ある工業の振興をはかる。

若者と市内企業との雇用のマッチングや企業誘致にも取り組み、就業機会を創出し市民の多様な就業ニーズに伝えていく。

市長が専決処分！市道の異常で、通過車両が破損。市は賠償金を支払った??

市道の陥没や道路の破損に気づかず、そこを通行した市民などが車を破損してしまった、という報告がありました。道路の管理責任者として、**市が賠償金を支払った**という事例が**3件もあった**というのです。よく考えると、**農地の開発が無秩序に行われている**ということと**無関係ではなさそう**です。農地の真ん中に資材置き場など農業と無関係な施設が作られてしまう。周囲の**農業用道路は簡易舗装**なので、その強度は低い。そこを大型ダンプなどが通過すれば、道路は簡単に壊されてしまう。市の道路補修予算を考えると、補修はとても間に合わない。開発を「**市はなぜ許可してしまうのか?**」市はきちっとしたルールを定めることが必要と思うのですが！！